

「電車の中でのメイク」 経験者も抵抗感あり 「女性の化粧行動・意識に関する実態調査～メイク篇 2007～」より

ポーラ文化研究所では人前で行う化粧について「電車の中でのメイク」を中心に調査分析を行いました。

★電車の中でのメイクには多くの女性が抵抗あり

メイク経験のある女性の76%に、電車の中でのメイクは「とても抵抗感がある」と受けとめられ、「抵抗感がない」人はわずか2%。年代が上がるほど電車内でのメイクへの抵抗感が強くなり、50代以上では「とても抵抗感がある」人は9割以上。一方、20代以下では「とても抵抗感がある」人が6割と、他年代より少ない。

★電車の中でメイクをした経験は？

実際に電車の中でメイクをしたことがある経験者は19%、未経験者は81%。30代以下では、経験者が2割以上となり、20代後半では43%と特に多い。一方、40代以上の経験者は1割以下にとどまっており、若年層と年齢を重ねた層との行動の差がみられる。

★電車の中で使用するメイクアイテムは何？

電車の中で使用したメイクアイテムはベースメイクよりポイントメイクアイテム、アイメイクよりリップメイクで使うアイテム(特に口紅・リップグロス)が多い。

【実施概要】

調査名 : 女性の化粧行動・意識に関する実態調査～メイク篇 2007～

調査時期 : 2007年8月 調査方法 : インターネット調査

調査対象 : 首都圏(埼玉県,千葉県,東京都,神奈川県)に居住する15～64歳の女性1500人 ※中学生を除く
(20～24歳、25～29歳、30～34歳、35～39歳、40～44歳、45～49歳、50～54歳、55～59歳、60～64歳 : 各150人)

※本報告は、対象者1500人のうち、メイクを行ったことがある1453人を中心に分析

ポーラ文化研究所の調査について

ポーラ文化研究所は1976年の設立以来、美しさに関わる研究、なかでも「化粧文化」について人文・社会学など様々な角度から探究しています。現代女性の生活や化粧に関する意識・行動についての調査研究にも取り組み、調査成果は研究所内のポーラ化粧文化情報センターやホームページなどを通じて公開しています。

<http://www.po-holdings.co.jp/csr/culture/bunken/>

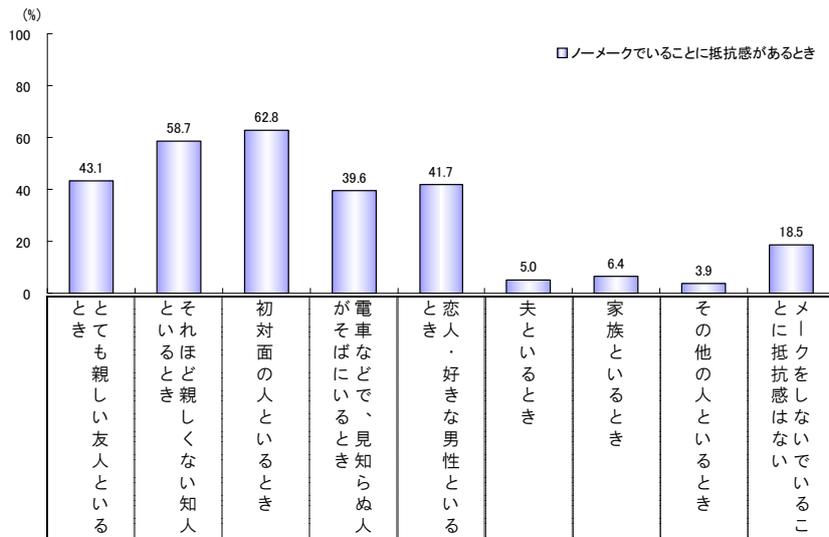
【リリースに関するお問い合わせ】 ポーラ広報部 TEL:03-3494-7123 担当: 山田・松本
【調査内容に関するお問い合わせ】 (株)ポーラ・オルビスホールディングス ポーラ文化研究所
担当: 鈴木・川上・立川 TEL:03-5795-0941

ノーメイクでいることへの抵抗感

1) ノーメイクでいることへの抵抗感

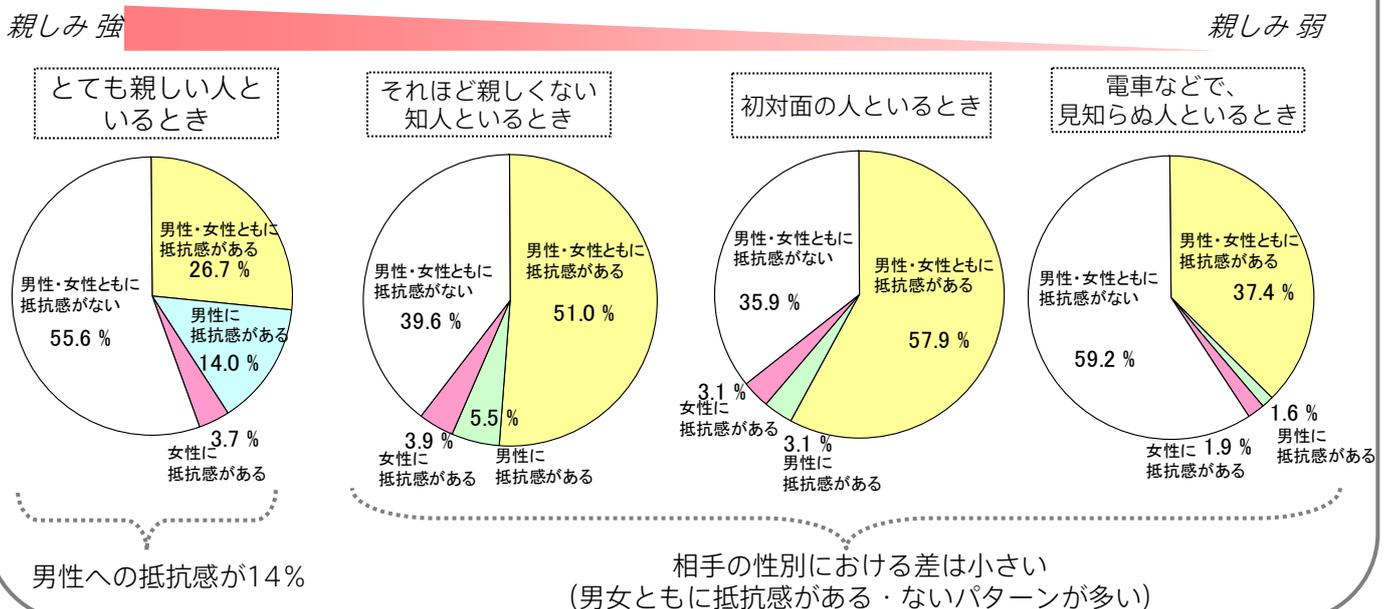
自分自身がノーメイクでいることへの抵抗感の度合いは、そのとき一緒にいる相手によって異なる。**相手が「初対面の人」の場合、抵抗感が最も高く、63%。**以下、「それほど親しくない知人」59%、「とても親しい友人」43%、「恋人・好きな男性」42%、「電車などでの見知らぬ人」40%が続く。「初対面の人」と「見知らぬ人」はどちらも初めて会う相手といえるが、「初対面の人」は、自分と関係を（今後）もつ対象ととらえ、今後も無関係である「見知らぬ人」とは意識に違いがあると推察される。一方、「夫」や「家族」が相手の場合、ノーメイクでいることへの抵抗感は5%程度にとどまり、家庭内ではメイクに執着しない状況がうかがえる。

■ふだんの生活でノーメイクでいることに抵抗感があるとき※一緒にいる相手別（基数：メイク経験者 1453人）



ノーメイクでいることへの抵抗感を抱くかどうかを、一緒にいる相手の性別でみると、「それほど親しくない知人」「初対面の人」「電車などでの見知らぬ人」では、男女ともに抵抗感がある（またはない）パターンが多数。相手の親しみ度合いが弱い場合は、相手の性別に関わらないメイク・ノーメイクの意識をもつとみられる。一方、「とても親しい友人」である場合、男女ともに抵抗感を抱かない人が過半数のボリュームゾーンであるが、相手が男性であるときに抵抗感を抱く人は14%に達し、メイクすることに男性の視線を意識している女性も一部存在する。

■ふだんの生活でノーメイクでいることへの抵抗感の有無 一緒にいる相手の性別パターン（基数：メイク経験者 1453人）

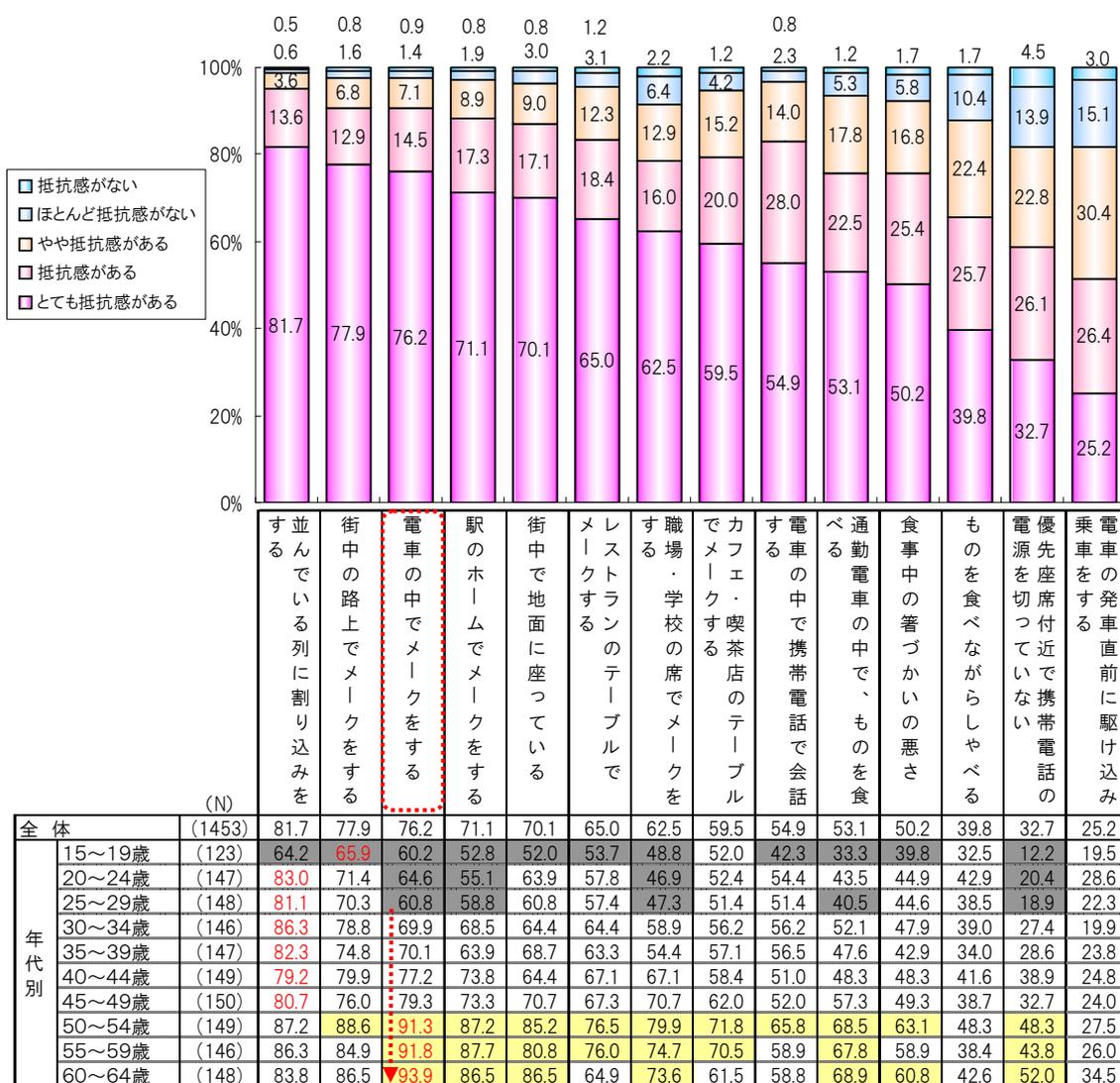


2) 人前での行動への抵抗感

人前での14種類の行動についての抵抗感をたずねたところ、とても抵抗感がある行動は「並んでる列に割り込み」(82%)、次いで「路上でメイク」(78%)、「電車の中でメイク」は76%と上位に入る。「電車の中でメイク」は、「優先座席付近で携帯電話の電源を切っていない」「通勤電車の中でものを食べる」「電車の中で携帯電話で会話する」などより、抵抗感を感じる電車内での行動となっている。

「電車の中でメイクをする」にとても抵抗感がある人を年代別にみると、10~20代では6割程度にとどまるが、30代以上は、年代があがるほど多くなっている。特に、50代以上では9割以上がとても抵抗感があると感じており、20代以下の若年層と50代以上との意識差が大きい行動となっている。

■人前での行動への抵抗感 (基数：メイク経験者 1453人)



3) 電車の中でのメイク状況

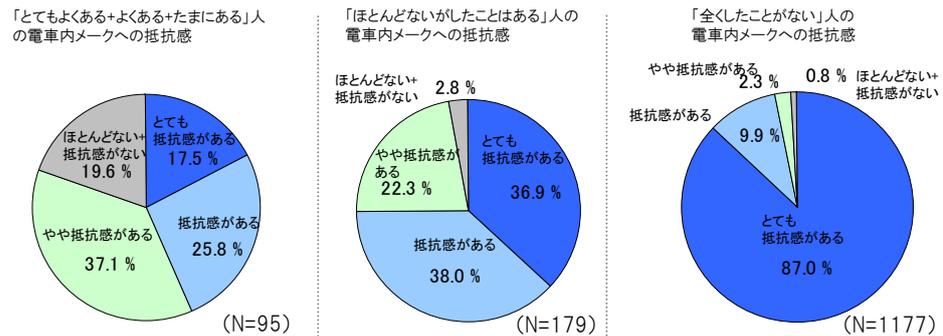
電車の中でメイクを実際に行ったことがあるかどうかをたずねると、電車の中でメイクをしたことがある経験者は19%、「全くしたことがない」人が81%。

経験者を年代別にみると、30代以下の経験者は2割以上おり、20代後半で特に多く43%。40代以上の経験者は1割以下にとどまっている。日常生活での電車の利用頻度を加味しなければならないが、20代の経験者が他年代と比べ多い状況が確認できる。

電車の中でのメイクを行った頻度別に、電車の中でのメイクへの抵抗感をみると、電車でメイクを「全くしたことがない」人では、大半の87%が電車の中でのメイクに「とても抵抗感がある」と感じている。

電車の中である程度以上メイクをしたことがある人（「とてもよくある+よくある+たまにある」）では「とても抵抗感がある」が18%と抵抗感が弱まっているが、「抵抗感がある」「やや抵抗感がある」をあわせると、8割程度の人に、抵抗感をもちつつも、メイクをしてしまうという、自身の意思に反した行動がみられる。

■電車の中でのメイク頻度別にみる電車内メイクへの抵抗感



■電車の中でのメイク頻度
(基数：メイク経験者 1453人)

	(N)	電車の中でのメイク頻度			ある計
		とてもよくある+よくある+たまにある	ほとんどないがしたことはある	全くしたことがない	
全体	(1453)	6.6	12.3	81.0	19.0
年代別	15~19歳	13.0	15.4	71.5	28.5
	20~24歳	12.3	21.8	66.0	34.0
	25~29歳	15.5	27.0	57.4	42.6
	30~34歳	4.8	23.3	71.9	28.1
	35~39歳	5.5	16.3	78.2	21.8
	40~44歳	5.4	4.7	89.9	10.1
	45~49歳	5.3	2.7	92.0	8.0
	50~54歳	2.7	4.0	93.3	6.7
	55~59歳	1.4	4.8	93.8	6.2
	60~64歳	2.0	4.1	93.9	6.1

(%)

※表の網掛け：全体平均より10%以上高いスコアに薄黄色（■）、10%以上低いスコアに灰色（■）で網掛け
※ここでは、化粧直しを除いたメイクとして質問した

電車の中で使用したことがあるメイクアイテム

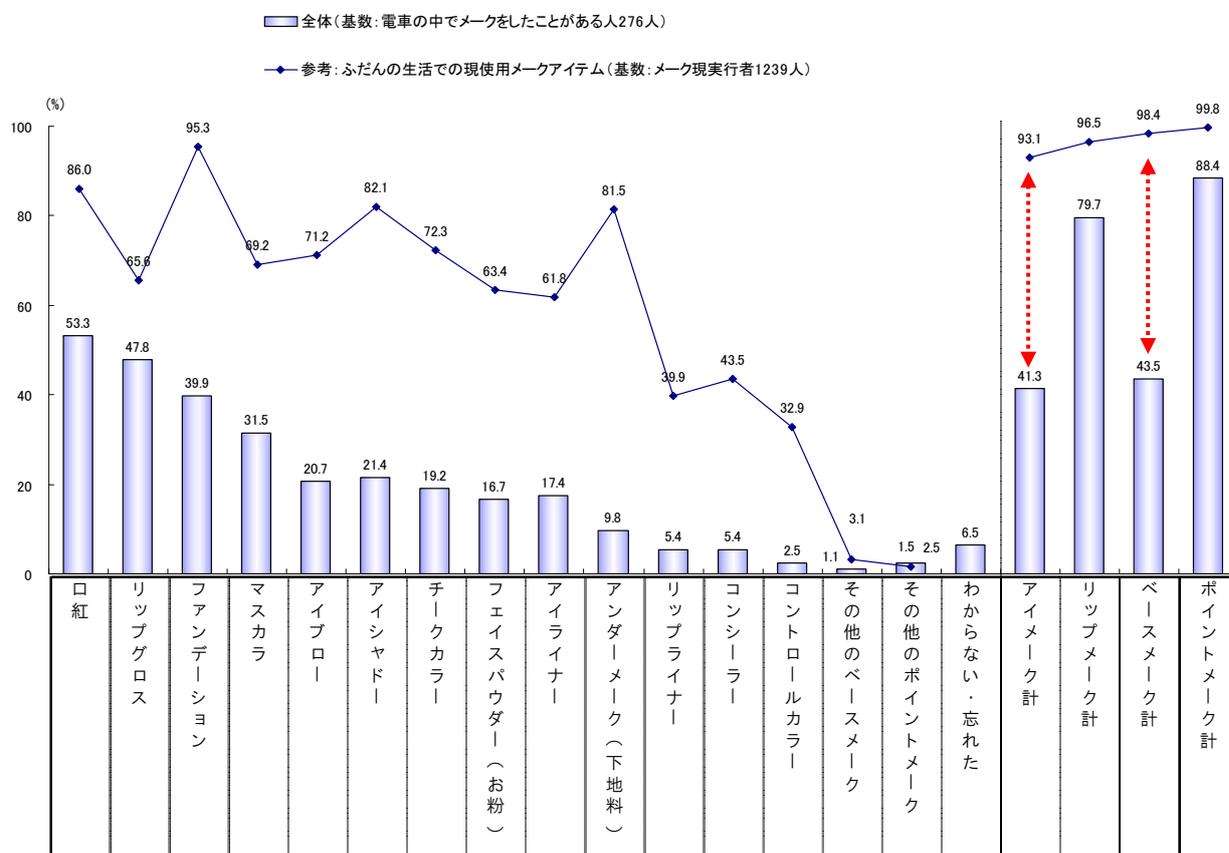
4) 電車の中で使用したことがあるメイクアイテム

電車の中でメイクをしたことがある人に、使用メイクアイテムをたずねたところ、「口紅」が53%でトップ、同じリップアイテムである「リップグロス」が48%と続いた。「アイシャドー」「アイブロー」などのアイメイクよりリップメイクの使用率が高く、さらにポイントメイクはベースメイクより使用率が高くなっている

ふだんの生活での現使用アイテムでは、アイメイクはリップメイクと、ベースメイクはポイントメイクと同水準の使用率であることを鑑みると、“電車乗車以前にベースメイク（またはアイメイク）は行っており、ポイントメイクを乗車中に行っている” “外出先でも手軽に使用できるアイテム（ここではリップアイテム）を電車内で使用”などの状況が推測される。

■電車の中で使用したメイクアップアイテム（化粧直し除く）

（基数：電車の中でメイクをしたことがある人 276人）



※アイメイク計は「アイシャドー」「アイブロー」「アイライナー」「マスカラ」のうち、いずれかひとつ以上使用の場合を指す
 リップメイク計は「口紅」「リップグロス」「リップライナー」のうち、いずれかひとつ以上使用の場合を指す
 ※ベースメイク計は「アンダーメイク」「コントロールカラー」「コンシーラー」「ファンデーション」「その他のベースメイク」のうち、いずれかひとつ以上使用の場合を指す
 ポイントメイク計は「アイシャドー」「アイブロー」「アイライナー」「マスカラ」「チークカラー」「フェイスパウダー」「リップライナー」「口紅」「リップグロス」「その他のポイントメイク」のうちいずれかひとつ以上使用の場合を指す
 ※ここでは、化粧直しを除いたメイクとして質問した